

# Twitter におけるユーザープロフィールと拡散力の関係分析

プロジェクトマネジメントコース・ソフトウェア開発管理グループ 矢吹研究室 1142016 井上 乃祐

## 1. 序論

Twitter は 2006 年に開始したサービスで、コミュニケーションツールのひとつとして利用されているソーシャル・ネットワーキング・サービスである。国内ユーザーは 2014 年 6 月では 1980 万人、2015 年 5 月では 2390 万人であり、月間アクティブ率は 70.2 % である [1]。

Twitter はツイートと呼ばれる 140 字以内の短い文字列を投稿するサービスである。自分以外のユーザーのツイートを読むためには、そのユーザーのページにアクセスする方法以外に、そのユーザーをフォローすることでツイートを読むことができる。フォローしているユーザーのツイートはまとめられ、タイムラインを形成する。

そのほかの機能にリツイートと呼ばれるものがあり、それは他の人のツイートを再びツイートするというものである。自分の画面上に流れてきたツイートをリツイートすると、自分のフォロワーの画面にも流れる。同じように、自分がフォローしているユーザーがリツイートすれば、自分のタイムライン上にリツイートが流れてくる。リツイートされるツイートには、ツイート内容という情報以外にアイコンや、ユーザーの ID などの本質以外の情報も含まれる。

Twitter を利用していると、フォローしているユーザーからリツイートが流れてくることがある。その流れてきたリツイートを見てみると、似たような内容でもリツイートされた回数に違いがあることに気づいた。そこで私はプロフィールのアイコンがリツイート率に影響があるのではないかと考えた。

## 2. 目的

Twitter のアイコンが拡散力に影響があるかを調べ、情報の本質でないアイコン部分が本質に与える影響を調べる。

## 3. 手法

VirtualBox をインストールして仮想マシンを作成し、そこに Ubuntu をインストールする。その後、Ubuntu 上で Python と Tweepy をインストールして、Streaming API を使用するプログラムを実行し、リツイートされたツイートを集める。

その後、リツイートされたツイートのアイコンを 24 種類のタグで分類し、R を用いて重回帰分析をする。

## 4. 結果

若い男性、中年の男性、子供の男の子のタグをつけたアイコンが多くリツイートされていた。

## 5. 考察

若い男性、中年の男性、子供の男の子のタグをつけたアイコンが多くリツイートされていた。そのため男性のアイコンのほうが、多くリツイートされるといえるのではないだろうか。また、若い男性のタグをつけたアイコンが多くリツイートされる理由として若い男性は流行、トレンドに早く追いつきツイートすることが多く、話題になりやすくリツイートが多くなったのではないだろうかと考える。

## 6. 結論

本研究で、男性アイコンのほうがリツイート率が高くなるという結果が出た。また今後の課題として、アイコンを分類する上でタグ付けをする作業を、自分の目で見えて手作業による分類方法を使用していたため、アイコンの分類に多少の主観が入ってしまっている。画像認識サービスによる分類を使用することによって客観的にアイコンを分類し調査することが今後の課題と言えるだろう。

## 参考文献

- [1] GaiaX SocialMedia Lab. 2015 年、11 のソーシャルメディア最新動向データまとめ. [http://gaiax-socialmedialab.jp/socialmedia/435\(2016/1/14 閲覧\)](http://gaiax-socialmedialab.jp/socialmedia/435(2016/1/14%20閲覧)).